

行灯を描いて祭りに参加しませんか！

2016 松江 水燈路

神在月

参加方法

▽個人または仲間（サークル）で出品（無料）。

▽用紙サイズ（54センチ×37センチ/枚）4枚で1基の行灯となります。

※1枚でも参加できます。その場合、他の作品（3枚）と合わせて1基になります。

▽行灯は、メイン開催日に美観地区（塩見縄手）に飾ります。

▽8月末までに描いてください（作品は返却できません）。

▽ちぎり絵、絵手紙、書など夜の城下町の雰囲気にあったものであれば、テーマは自由です。

※行灯の木枠と用紙（和紙）は、松江観光協会が用意します。

申込みおよび問合せ先 NPO法人まちねっと大口窓口にある申込書に必要事項を記入していただき、規定の用紙（和紙）をお受け取りください。

☎22-6642 月曜日から土曜日（祝日除く） 午前9時から午後5時
（正午から午後1時を除く）

お出でませ、松江！

我が町出身の武将「堀尾吉晴公」は、松江開府の祖として松江市の皆さんから親しまれています。昨夏、吉晴公が築城した松江城の国宝化を機に姉妹都市提携をした松江市。「松江水燈路」に触れ、松江の秋を満喫してみませんか？行灯を作って間接的に参加するだけでは不完全燃焼？ 直接、松江に触れ、松江を知り、松江を楽しみましょう！

姉妹都市提携事業 秘書広報課



開催期間 10月1日(土) ~ 31日(月)

●メイン開催日は、土日祝および7日(金)の11日間

姉妹提携都市「松江市」の秋の風物詩である「松江水燈路」。出雲の国では、10月は日本中の神々が集結する「神在月」。松江水燈路は全国の神々を前にして、ライトアップされた松江城を中心に手作り行灯の暖かい光で松江城下の幻想的な景色が醸し出されるお祭りです。

※詳しくは松江水燈路のホームページをご覧ください。

松江水燈路